



協働

協働の指針策定検討委員会

「当別町協働の指針策定検討委員会」の第4回会議を10月21日に開催しました。

会議では、町行政に多様な住民意見を反映するための手法として、パブリック・コメント（意見公募）、パブリック・インボルブメント（住民参画）の制度化について、事務局から説明がありました。「協働の指針」の策定では、骨子（案）に対してのパブリック・コメント実施や関係団体との意見交換を考えています。

また、前回に引き続き、当別町で協働に取り組みむときの課題などについて、意見を出し合いました。検討委員会の提言書に協働のまちづくりを進める上で大きな柱として盛り込む内容を整理するため、もう一度各委員より提案を受け、次回委員会でさらに議論を深めていきます。

主な意見

◆町民の意識改革が必要だと思う。地域活動をしていると、行政との間にラインを引くような町民側の発言を聞くことがある。また、それくらいのことには行政にやってもらうという意見を高齢者から聞くことが多い。安い人件費で思っているのだから残念に思う。行政だけではなく、町民も変わらなければいけない。

◆行政と町民の意識のバランスが取れていないと感じる。役場から町民参加だと下駄を預けられても、そのような経験が少なく、どの様に進めれば良いのかわからない。町民の声を聞き、政策を作り上げることが役場はどこまで本気で考えているのかわからない。

◆役場職員も町民もほとんどの人がまちづくりに参加する意識がない。また、議員は行政と町民の中間的立場だと思いが、行政を深く知っているのもっと一緒に出来るような気がする。

◆合併しなくなったので、自分たちで財政を切り盛りしなければならなくなり、皆の力が必要だと何度か行政の方から聞いたことがあった。お金がないから私たちの力が必要なのかと思いい、その表現はやめた方が良いと思つた。まちづくりのために皆さんの意見を聞いた方が良いまちになるからと言われれば意見を出せるが、皆の力を安く借りたいと受け止められしてしまうような表現は残念。



◆委員会を公開していますので、傍聴することができます。

◆委員会で配付された資料や次回委員会の開催日程は、町のホームページに掲載しています。

◆質問や意見をお寄せください。

◆担当 企画課企画調整係 ☎23-2393・FAX 25-5555



下水道事業運営委員会

私たちの生活は、下水道が整備されることにより、水酸化が進み、家庭排水を川へ流すことも少なくなり快適な生活環境が整ってきました。

町では、暮らしに欠かすことのできない下水道事業に、町民の意見を反映するため「当別町下水道事業運営委員会」を設置しました。委員会では、事業の円滑で効率的な運営のために、下水道受益者負担金や下水道使用料、下水道運営に関することを調査、審議していきます。

11月1日に開催した第1回会議では、委員への委嘱状交付と会長などの選出、下水道事業の概要説明が行われました。

下水道事業運営委員		(敬称略)	
役職	氏名	選任区分	
会長	高島 勇一	町内団体推薦者	
副会長	山田 明	学識経験者	
	櫻井 潤		
委員	秋場 信一	町内団体推薦者	
	岸本 護		
	下段 キミ		
	石田美佐江	一般公募	
	坂本 千鶴		
	真壁紀美子		
	高橋 昌二		

◆委員会は公開していますので、傍聴することができます。当日、直接会場にお越しください。

◆今年度は5回の委員会開催を予定しています。

◆ホームページで会議内容、会議日程を掲載しています。

◆担当 下水道課庶務係 ☎23-3542



# みんなでも考えよう！ごみ問題

## 家庭ごみ減量化・有料化に関する懇談会

11月中に開催した「家庭ごみ減量化・有料化に関する懇談会」では、参加された方から、貴重な意見を伺うことが出来ました。

町は、これらの意見や今後の懇談会での意見を参考にしながら、家庭ごみの有料化を検討していきます。

今回は、8日「ゆとろ」、9日「西当別コミュニティセンター」で開催した懇談会での質疑応答の一部をお知らせします。

**問** 有料化と減量化は離して考えた方が良いのではないか。

**答** 有料化により、ごみ減量化に対する意識が高まり、リサイクルの促進にもつながると考えています。また、出すごみの量に応じた負担となること、減量に努力されている人の努力が報われることなどから、費用負担の公平化にもつながり併せて実施したいと考えています。

**問** 有料化ありきの減量化なのか。有料化はもう決まったのか。減量の目標が達成できれば高い金額を設定しなくても良いのではないか。

**答** 有料化にはメリットやデメリットがあります。減量化と併せて有料化の実施を考えています。また、金額の設定については、低価格に設定した場合、減量効果が薄れリバンドの可能性もあります。過度な負担とならないよう設定したいと考えています。

**問** 町財政が大変で町の経費削減のために有料化をするのではないか。

**答** 平成16年度のごみ処理費用の総額は約2億7千万円かかっています。焼却灰などを埋立てる最終処分場の建設費も膨大で、一連のごみ処理施設の延命のためにも減量が必要です。

**問** 有料化でどの位減量になるのか。その実例は。有料化の実施2年前と実施2年後の比較で、室蘭市は35%、留萌市は20%程度減量しています。

**問** 全道でどれ位の市町村が有料化を実施しているのか。

**答** 全道で、収集ごみ・粗大ごみなど、何らかの家庭ごみを有料化しているのは160市町村あります。

**問** 家庭菜園や花壇から出るごみが有料となるのは困る。

**答** ごみの資源化などの方策を調査し、併せて家庭でできる減量方法について情報提供していきます。

**問** 道路のポイ捨てで拾ったごみも有料なのか。

**答** 「ボランティアごみ」として無料扱いと考えています。「ボランティアごみ」は、基本的には地域などが奉仕活動で集めたごみと考えています。が、取り扱い方法など、皆さんの意見を聞く中で整理していきたいと考えています。

**問** ごみの収集方法はどうするのか。戸別収集で行えば、ごみ出しのルール違反がなくなるのではないか。

**答** 戸別収集は収集時間がかかり、人件費増や収集車の増車が必要で経費が増加するため、粗大ごみを除きステーション収集を考えています。

**問** また、ルール違反のごみ出しについては、ごみステーションの管理とともに地域の協力もお願いします。

**問** カラス避けの黄色いごみ袋はどうか。

**答** 単価が大変高価で、袋の経費は皆さんの負担につながりますので導入は難しいと考えます。ごみの出し方は、今までの分別方法と変わりにないため、半透明の袋の採用を考えています。

**問** 費用は、指定ごみ袋を購入して負担することだが、値段はいくらになるのか。

**答** 全道的には40リットルの袋で1枚80円という市町村が多いようですが、他市町村の設定も参考にしながら検討します。

### その他の意見

◆マイバック運動によるレジ袋のポイント制導入を検討してほしい。  
◆リサイクルにはエネルギーが必要なので、リユース(再使用)を推進した方が良いと思う。



担当 環境対策課 ( ☎ 23 2503 )